

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

豊島区立南長崎幼稚園 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

わくわく

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？

どうして？



好奇心を持つ
きっかけを増やす

できるかな？

こうしてみよう！



考えを広げる

できた！

今度はあれを
やってみようかな



考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

自己に

かかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性に

かかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

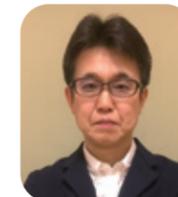
テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援
乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都と CEDEP は、「とうきょう すくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょう すくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



豊島区立南長崎幼稚園

電話

03-3950-2861

所在地

東京都豊島区
南長崎4-12-7



豊島区立南長崎幼稚園で

5歳児
クラス



とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

テーマ 音

音は生活していく中で身近にあり、自然に出る音、作り出す音など様々です。音は言語を越えてつながることができる素材でもあるため、音への探究から多様な人とつながり、表現していく楽しさを子供たちに味わってほしいと考え、テーマとして設定しました。

いろいろな音を出してみよう！

鈴・タンバリンなど馴染みのある楽器だけでなく、コンガ・ボンゴ・カホンなど子供たちが初めて見る楽器も準備しました。



どんな音が出るかな？



楽器を紹介した後、子供たちは好きな楽器を選んで音を出しました。楽器以外にも、空き箱やプラスチック容器、空き缶など、子供たちにとって身近な素材も準備しました。



素材や叩き方によって、音はどのように変化するかな？



どんな音がする？

次に、「世界中のこどもたちが」の歌に合わせて、みんなで楽器を叩きました。子供たちは箱を並べてドラムのように叩いたり、同じ楽器を違うバチで叩いたりして様々な方法で音を出していました。また、空き缶や空き箱を叩く強さや速さ、向きなどを変えてみるなど子供たちは音の違いを確かめながら取り組んでいました。



活動を通して



活動を重ねるにつれて、子供たちは音に敏感になり、いろいろな音に気づき、それを言葉で表現していました。今後は音を組み合わせたり、音楽の要素も入れていきながら、子供たちが探究する音の幅を広げていきたいです。